

## 新規就農者(自営) 新規参入 2

氏名	工 信幸さん (35才)
家族構成	妻、子ども3人 (4才、3才、1才)
市町村	昭和村
ホームページ	<a href="http://takumi.showamura.net">http://takumi.showamura.net</a>
就農形態	新規参入



### 1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : 花卉 (宿根かすみ草) 50 a
- (2) 労働力 : 本人、妻 (20代)
- (3) 販売方法 : 宿根かすみ草 : J A出荷
- (4) 営農上の特記事項 : エコファーマー、J Aの栽培基準に則した栽培方法

### 2 プロフィール

- ・昭和49年 神奈川県横浜市生まれ
- ・平成9年 大学経済学部卒業
- ・平成10年 群馬県嬬恋村のキャベツ農家に4ヶ月間住み込みアルバイト
- ・平成13年 ヤマト運輸入社
- ・平成16年 結婚 昭和村への移住を考え始める
- ・平成20年 昭和村に移住  
昭和村新規就農者受入事業により指導農家での研修を受ける
- ・平成21年 宿根かすみ草栽培を始める

### 3 就農の動機

一番の理由は、からむし織りのある昭和村へ移住したかったから。  
自然豊かなところで子育てしたかったことや農業をして生活したいという思いがあった。昭和村で生活していくための方法を調べると新規就農者受入事業があった。

### 4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由  
栽培体験に訪れたときに、東京にいるときには外に出ても親から離れることのなかった長女 (当時2才) が一人で畑の中を走り回っていた。それを見て、移住を決意した。
- (2) 就農するまでの経過と年数
  - 平成16年 昭和村への移住を考えたが、資金不足により断念。
  - 平成19年春 貯金が貯まり再び移住を考える。
  - 平成19年6月 池袋で開催された新農業人フェアで役場担当と話す。かすみ草栽培体験ワークキャンプに参加。
  - 平成19年11月 受入事業の面接
  - 平成19年12月 受入決定 村営住宅を紹介してもらう。
  - 平成20年4月 移住
  - 5～11月 指導農家での研修
  - 12月 栽培をやめる農家から農地・機械類を引き継ぐ。
  - 平成21年4月 就農

- (3) 技術の習得方法  
平成20年6月 農業短大でトラクター運転免許取得の研修  
5～11月 指導農家にて研修
- (4) 過去の農業従事経験  
あり→群馬県嬭恋村にて4ヶ月間の住み込みアルバイト
- (5) 農地の確保方法  
畑 借り入れ 75a 村役場の紹介
- (6) 資金の確保方法  
ア 自己資金総額 1,000万円  
イ 借り入れ  
経営開始支援資金（就農後資金） 100万円
- (7) 住宅の確保方法  
ア 村営住宅（戸建て）  
イ 村役場の紹介
- (8) 地域とのつきあい・所属団体など  
ア 地域の行事には積極的に参加しています。
- (9) 生活を支えた補助的収入  
特になし。今後は手仕事を覚えたい。
- (10) その他（努力を要したことなど）

## 5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

- (1) 利用した支援制度：昭和村新規就農者受入事業（指導農家の紹介、家賃・農地代の助成、苗代の助成）  
農水省 新規就農者に対する機械・施設等の導入支援（トラクター等の購入1/2の助成）
- (2) 役に立った支援 :

## 6 就農しての感想

- (1) 良かったと思うことなど  
子どもたちが他の年代の子どもたちと遊んでいるとき・・・東京にいるときにはなかった光景です。同じ年の子どもたちだけでなく違う年代の子どもとも毎日遊んでいます。  
野菜をたくさんもらったとき・・・村の皆さんにとってもよくしてもらっていると感じる。人と人とのつながりがより密になった。
- (2) 苦労したことなど  
苦労している点は特になしだが、敢えていうなら技術がまだ未熟。経験を積んで一步一步進んでいきたい。

## 7 今後の目標・方針

専業農家として暮らしていきたい。農業収入だけで楽しく子育てしたい。

## 8 新規就農を目指す人へのアドバイス

農業するということだけでなく人と人とのつながりを大事に地域に早く馴染むことが重要だと思います。